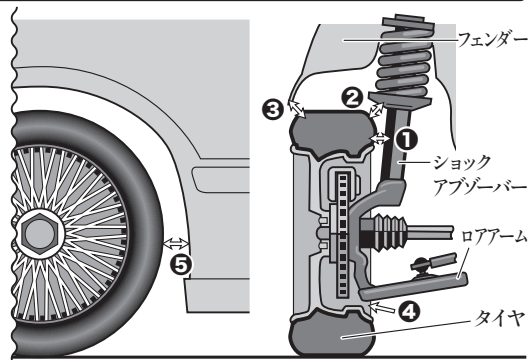


# Check Point!

スノーネットの装着可否についてはタイヤ周辺の間隙で判断します。主な判断基準は下図の通りですが、車種によって異なる場合がございます。

- ①タイヤのサイドとショックアブソーバーとの隙間
- ②タイヤショルダー部(内側)とショックアブソーバーとの最小隙間
- ③タイヤショルダー部(外側)とフェンダーエッジ部との隙間
- ④ロアアームとタイヤ・ホイール内側との隙間
- ⑤タイヤ外周とフェンダーとの隙間



スノーネット装着は以上の各隙間が装着前に20mm以上必要です。ご確認ください。

## 注意事項

- 1) 隙間が狭い車両に取り付けると走行時の遠心力により浮き上がり現象が発生し、車体に接触してスノーネットが破損し故障、事故の原因となる場合もあります。
- 2) 装着時ストラットの皿部にスプリングが乗らない様ご注意ください。
- 3) 車種や形式によっては、チェーンクリアランスが十分でない場合がありますので確認してください。
- 4) スノーネットのサイズ適合表は新車用標準タイヤを基準にしていますので、タイヤ・リムが変わると取り付けられない場合があります。
- 5) エアサス車については、装着走行時車高は絶対に下げないでください。標準もしくはそれ以上の状況に応じた高さで走行してください。
- 6) 4WD車の取付位置は車両マニュアルに従ってください。特に指定の無い場合でフロントタイヤ内側に余裕がある場合、前輪への取付をおすすめいたします。
- 7) 誤った取り付けおよび使用方法での事故、故障などについては一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 8) マッドテレーンタイヤへの装着はできません。
- 9) 不明な点については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 判断基準



### 装着できる車種

タイヤ周辺の間隙が20mm以上ある車。



### 装着不可能車種

タイヤ周辺の間隙の1カ所でも20mm未満の部分がある車。

## いずれかの隙間が20～25mmの車両について

スノーネットと車体の隙間が少なくなるため、装着には下記の注意が必要です。販売の際ご説明ください。

- 1) 隙間が狭いため、取り付け、取り外しが難しくなりますが、丁寧に装着してください。FRの場合、ジャッキアップによる取り付け、取り外しがより容易な場合があります。
- 2) 装着した時、スノーネットがまだダブついていますので、半回転する時や徐走はゆっくりとしてください。
- 3) 徐走した後、スプリング部分がきれいな円になっているかどうか確認してください。ゆがみ、変形した状態では、車体と接触する場合があります。
- 4) 走行速度は、極力控えるようにしてください。スピードアップすると遠心力によりネットはふくれ上がり車体に接触して異音を発し切断の原因となります。

ただいま調査中です  
しばらくお待ちください